



平成 18 年 8 月 10 日

各 位

ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社

代表取締役社長 山口浩行

(コード番号：3390)

問合せ先 経営企画部長 吉永和弘

電話番号 03-3568-1305

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 9 日付当社「平成 18 年 3 月期決算短信（非連結）」にて発表いたしました平成 19 年 3 月期中間業績予想（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）及び通期業績予想（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期 中間業績予想の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）

(単位：千円)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	1,670,159	31,264	11,953
今回修正 (B)	1,394,114	△172,737	△102,433
増減額 (B-A)	△276,045	△204,001	△114,386
増 減 率	△16.5%	—	—

2. 平成 19 年 3 月期 通期業績予想の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

(単位：千円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	4,126,049	260,269	141,045
今回修正 (B)	3,746,451	262,297	155,542
増減額 (B-A)	△379,598	2,028	14,497
増 減 率	△9.2%	0.8%	10.3%

3. 修正理由

売上業績予想につきまして、e コマース事業において従来は当社にて仕入販売を行ってまいりましたが、この商流を第2四半期より相当部分専門の商社に移管し、売上をシステム利用料収入に切り替えること等から、中間期において1,394,114千円（従来予想1,670,159千円）、通期において3,746,451千円（従来予想4,126,049千円）に修正いたします。なお、e コマース事業につきましては主力のソリューションアウトソーシング事業の付帯サービスであることから利益率が低く、システム利用料収入への切り替えによる利益予想への影響は軽微です。

利益予想につきましては、現在のところ主力のソリューションシステムアウトソーシング事業ならびにe コマース事業は引き続き着実に成果を上げておりますが、当期から新たに当社の技術力とノウハウを結集した「介護ソリューションシステムパッケージ」ならびに顧客の重要なデータ資産を守る新概念のデータストレージサービスである「Security Data Box」の開発および商品化を進めてまいりましたため、これらのサービス提供開始にともなう研究開発費用、及び商品化費用が上半期において先行する見込みです。

以上のことから利益予想について中間期において経常損失172,737千円（従来予想31,264千円）に修正するものの、通期におきましては下半期より「介護ソリューションシステムパッケージ」と「Security Data Box」の売上が本格的に見込めることや、現在構築中のソリューションシステムが順次リリースされることから、経常利益262,297千円（前期比+15.0%）と従来予想260,269千円にほぼ変更はありません。

以 上

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在における経済動向や市場環境をはじめとした情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。